

一般質問

(一般質問は2面・3面・5面にも掲載)



市民に利便性と安心・安全をもたらせ



創和会 原 聡

一 防犯灯・防犯カメラについて

問 防犯灯の設置状況と、今後の維持管理の方針はどのようなか。

答 平成27年度に※ESCO事業を導入し、防犯灯のLED化が完了した。耐用時間は約6万時間であるが、実際は環境によって異なるため、経費や作業面を考慮した保守計画などについて研究したい。



防犯カメラの設置促進を

要望 駅前設置された魚眼レンズ型防犯カメラに続き、新東名高速道路の開通を見据え、防犯カメラの設置を進めてほしい。

二 はだの桜みちの維持管理について

問 はだの桜みちの現状と、維持管理の状況はどのようなか。

答 500本以上のソメイヨシノを管理しており、魅力を発信するとともに通行の支障となった樹木の剪定や伐採を行っている。

問 高齢者や車いすの利用者などに配慮した歩道とするため、成長



積極的な産前産後の支援で子育て世帯の安心の確保を



公明党 横山むらさき

一 感染症第6波への備えについて

問 3回目のワクチン接種に向けた体制づくりが進む中、①これまでの未接種者に対する接種の呼び掛けや外国人未接種者への対応は

②接種ができない人に対する差別防止の取り組みは、どのようなか。

答 ①医師会と協議し接種体制を整え、広報はだのなどで接種を呼び掛ける。外国人には相談窓口などでテレビ電話を使いリアルタイムで通訳し対応する。②HPなど



担当部局の連携で安全・安心な通学路の実現を



市民クラブ 野々山 静香

一 中学校給食完全実施について

問 さまざまな課題が出たと思うが、生徒の日課への影響はどうか。

答 これまで、各校の昼食時間は平均して約15分であったが、給食の実施で30分から35分ほどの時間を要すると想定していた。各校で工夫し、授業の進め方や行事などに影響がない範囲で、新たに時間を捻出したことにより、日課への大きな影響はないと考える。

二 安全・安心な通学路について(その2)

問 車の減速を促す交通安全対策について全国の自治体で実証実験を含めた導入や検討が進む中、※ハンパの設置など、本市の物理的な安全対策の取り組みはどうか。

答 過去に、試験的にハンパを設置した例があり、速度の低減などに効果があった。一方、通過時の騒音や振動などが沿道の住宅に与える影響も多かったことから、撤

ヘルプマークのさらなる普及を(県の周知ポスター)



三 障がい者支援について

問 障害への理解を深め、支援や配慮を必要とする人が援助を受けやすくするヘルプマークの認知度を高めるため、新たなボードを設置し、周知を図ったかどうか。

答 既に提示している事例を研究しながら、障害者支援委員会などで研究テーマに取り上げていく。



市内のイメージハンパ

去した経過がある。

問 視覚効果に訴えるイメージハンパといった手法など、今後の安全対策の進め方はどのようなか。

答 視覚効果を狙った路面標示については、令和4年度の導入に向けて準備を進めている。今後は、学識経験者などで構成される推進組織を新たに設置し、通学路安全対策を、より着実に進めていく。

要望 イメージハンパなども含め、比較的短期間に実現できる対策を積極的に進めてほしい。



交通バリアフリーを促進し利用者に安全・安心を



無所属 木村 眞澄

一 交通バリアフリーの促進について

問 市民が最も利用する公共施設である、駅前広場における交通バリアフリーへの取り組みはどうか。

答 交通バリアフリーに関する法



東海大学前駅南口駅前広場



市民と二丸となりはだのクリーンセンター施設での処理体制の推進を



自民・新政 風間 正子

一 災害弱者への避難支援について

問 災害時に自力での避難が困難な市民を支援するための「避難行動要支援者名簿」の活用状況と今後の取り組みはどのようなか。

答 対象者に名簿掲載の同意を得た上で自治会などに情報の提供を行っている。名簿活用強化に向け、自治会などへの講習会実施に加えて、避難行動要支援者も含めた実践的な訓練なども進めていく。

二 ごみ処理の現状について

問 令和5年度末に向けて、はだのクリーンセンター施設での処理体制へ移行するため、ごみの減量や資源化の促進に向けた取り組みはどのようなか。

答 可燃ごみの約4割を占める生ごみについて、家庭用の処理機の導入補助のほか、生ごみ持ち寄り農園の開設などを行っているが、特に食品ロスの削減を強化していきたい。また処理機の補助制度について集中的に周知を行っていく。



今泉地区での区画整理においては丁寧な説明を基本とし事業の早期実現を



自民党泰野 高橋 文雄

一 薬物防止対策について

問 令和3年度における市内の薬物事犯数は2年度に比べ増加しており、特に子ども薬物乱用は成長への著しい影響が生じる。学校



交通バリアフリーを促進し利用者に安全・安心を



律などの基本理念を踏まえ、エレベーターの設置などの整備を進めており、適切な維持管理に努める。

問 交通バリアフリーを促進するためには、公共交通事業者の取り組みも重要だと考えるが、どうか。

答 移動の支障となる段差を解消する取り組みをはじめ、さまざまな取り組みを行っている。今後も公共交通事業者と連携し、交通バリアフリーへの配慮に取り組む。

要望 誰もが安心して社会生活を送れるよう、利用者の多い駅に、列車との接触事故を防止するホームドアの設置を要望してほしい。

二 防犯カメラの設置について

問 犯罪の抑止などの効果が見込まれる防犯カメラの設置状況と映



令和5年度末に向けて、はだのクリーンセンター施設での処理体制の推進を



問 令和5年度末に向けて、はだのクリーンセンター施設での処理体制へ移行するため、ごみの減量や資源化の促進に向けた取り組みはどのようなか。

答 可燃ごみの約4割を占める生ごみについて、家庭用の処理機の導入補助のほか、生ごみ持ち寄り農園の開設などを行っているが、特に食品ロスの削減を強化していきたい。また処理機の補助制度について集中的に周知を行っていく。

要望 ごみの分別や資源化をさらに充実・強化するため、分別に関



今泉地区での区画整理においては丁寧な説明を基本とし事業の早期実現を



における防止の取り組みはどうか。

答 違法薬物を許さない資質や能力を身に付けるため、専門家による薬物乱用防止教室を実施している。また、保健体育の授業において、ゲートウェードラッグと呼ばれる酒やたばこの害や薬物依存について自ら考えさせる指導に加えて、自己肯定感を育むことで他人を大切にすることを育て、さまざまな問題行動の未然防止に努めている。

要望 市内でもシンナーや覚醒剤、大麻、危険ドラッグなどにより人生が崩壊した事例があり、指導や像の活用はどのようなか。

答 犯罪抑止力とプライバシー保護を考慮した上で、泰野警察署の意見や地域の要望なども踏まえ、126カ所に212台を設置している。また、防犯カメラの映像は、警察などへも提供しており、事件の解決に結びついた事例もある。

要望 安全・安心な市民生活の実現には、防犯カメラの設置が必要だと考えるが、広域化する犯罪には、近隣市の警察との連携も強化し、対応してほしい。



市内の生ごみ持ち寄り農園



泰野駅南部土地区画整理事業区域図(B地区は赤色、C地区は黄色)

※ESCO事業…Energy Service Companyの略称で、省エネルギー効果を保証し、新たに生み出した省エネルギー効果分の一部を事業者が報酬として受け取る事業
※ハンパ…交通安全対策のために、道路の路面に設けられた凸状の部分のことで、自動車を減速させて歩行者・自転車の安全な通行の確保を目的に設置される

会派の表記について …「自民党・新政クラブ」は、略称として「自民・新政」と表記しています。